



つのちょう

第55号

# 議会だより



ファイヤーダンス（棚田キャンドルまつり）

## 9月定例会

平成30年11月1日発行

### 主な紙面

平成30年度一般会計補正予算……………2P

平成29年度各会計決算を認定……………6P～7P

町政を問う（8人が一般質問）……………8P～21P

発行 高知県津野町議会  
☎(0889)55-2038  
編集 議会だより発行調査特別委員会  
発行責任者 議長 大崎公孝  
印刷 刷 (有)笹岡印刷所

# 一般会計補正予算

9月定例会

台風7号等による  
災害復旧費等

# 1億2,990万円を増額

## 総額57億2,800万円

9月定例会は、6日から

13日までの8日間開かれ、健全化判断比率や専決処分

の報告が3件、平成30年度の一般会計補正予算をはじめ議案8件、平成29年度各会計決算6件を認定した。一般質問には8人が立ち、町長の基本政策、農林業の振興と後継者育成、障がい者支援、観光振興の強化、中学校の部活動の在り方、子育て支援策や保育料無償化への取り組み等について執行部をただした。

### 30年度補正予算

#### 一般会計補正予算(第3号)

園芸用ハウス整備及び環境制御技術普及促進事業2千471万4千円、こうち農業確立支援事業494万3千円、自然体験型観光資源強化事業等観光費1千367万5千円、高等学校等通学助成事業1千122万5千円、林道現年災害・公共土木現年災害復旧費7千万円等を増額し、歳入歳出の総額を57億2千800

万円とする。

可決(全員一致)

#### 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

事業勘定1千646万円、直営診療施設勘定98万5千円を増額し、歳入歳出の総額を、事業勘定8億1千607万2千円、直営診療施設勘定1億7千696万5千円とする。

可決(全員一致)

#### 介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

平成29年度の介護給付費確定に伴い1千410万4千円等を増額し、歳入歳出の総額を8億42万2千円とする。

可決(全員一致)

### 条例の改正

#### 津野町介護保険条例の一部を改正する条例

厚生労働省通知により、刑事施設に収容されている

者に対する介護保険料の減免の規定を追加し、併せて法制執務上の確認及び法令・例規の引用条項の精査を実施し改正するもの。

可決(全員一致)

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令」及び「介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令」の施行に伴い町が条例で定めている地域密着型サービス、地域密着型介護予防サービス、指定介護予防支援等、指定居宅介護支援事業者の各種基準の見直しを行うもの。

可決(全員一致)

津野町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の

一部を改正する条例

厚生労働省の省令施行に伴う条例の一部改正及び記録の保存期間をその他の介護保険基準条例に併せ「2年間」から「5年間」に変更するもの。

可決(全員一致)





## その他の議案

▼高幡広域市町村圏事務組合  
規約の変更

高幡広域市町村圏事務組合で共同処理する事務のうち、大野見青年の家に關する事務を廃止するとともに、高幡租税債権管理機構が行う滞納整理事務に關し、税以外の強制徴収公債権も引き受けの対象とするよう改正するもの。

可決（全員一致）

▼高幡広域市町村圏事務組合  
規約の一部変更に伴う財産処分

高幡広域市町村圏事務組合で共同処理する事務のうち、大野見青年の家に關する事務を廃止することから、大野見青年の家の建物および物品を所在地の中土佐町に無償譲渡するもの。

可決（全員一致）

## 議員発議意見書

▼公共事業等における国産材（地域材）の利用推進を求める意見書

日本の美しい国土は、森林の持つ水源かん養や地球温暖化防止、生物多様性など多面的な機能により保全されている。

しかし、木材利用の形態の変化や木材価格の低迷により、森林所有者による適切な管理がなされない森林が増え、森林の持つ機能を保つことが難しくなっており、日本の森林再生は急務となっている。

そうした中、平成22年には木材利用拡大のため、「公共建築物等における木材の利用の促進に關する法律」が制定され、公共建築物等の木造化が推進されているが、国産材の利用による林業・木材産業の再生には更なる取り組み、推進の強化が必要である。

CLTの普及などの新たな技術により、木造建築の

可能性は高まっており、森林資源の持続可能な利用のための木材需要の拡大を一層加速させるためには、公共事業等での木材活用をさらに推進し先導することが求められている。

国においては、国産材、特に地域材の需要拡大、公共建築物等の木造化推進のための支援の継続・拡充及び予算の確保など、木材利用促進のための施策を講じられるよう強く要望するもの。

可決（全員一致）

●発議第1号公共事業等における国産材（地域材）の利用促進を求める意見書（案）  
についての賛成討論

大崎芳

公共事業等における国産材の利用活用を強く要望し、日本の林業を守る観点から賛成とする。

## 専決処分の報告

▼町有林伐採作業中の電線  
切断による損害賠償額を  
決定したもの。

議員出張  
懇談会を  
行いました。



7月27日13時半、役場本庁舎2階会議室において、初の議員懇談会を開催した。今回は「高齢者の自由な集まり、絆」の皆様よりお申込みをいただき、13名が参加して下さった。懇談内容は希望に基づき、森林・林業に關することや社会教育に關して。中でも林業に關して特に活発な意見が出された。参加者同士の意見交換もあり、私たち議員にとっても町民の様々な生の声を聴く有意義な時間となった。

若い人をどう育てるか？住民も議員も一緒になつて山が宝の山になるよう本気で取り組むべきという津野町への共通した想

いを受け止め、気を引き締めた。  
貴重なご意見は9月定例議会の一般質問にも活かされた他「木材建築をすすめるなら、もっと補助金をあげる等により、木の使用を増やさなければならぬ」というご意見にも後押しされ、9月13日には「公共事業等における国産材（地域材）の利用推進を求める意見書」を国に提出することの発議がなされ、可決した。



議員出張懇談会について、気軽にお問合せ・お申込み下さい。お待ちしております。

# 町長 行政報告



池田町長

## 7月の豪雨災害について

台風と梅雨前線豪雨は船戸で10日間の総雨量1千298ミリとなり公共災害4件、林道災害4件、がけ崩れ3件総額約9千500万円の被害が発生した。  
また町道岩土線は、この豪雨により地滑りの動きが確認され地滑り災害の認定を受けた。これらを合わせた被害総額は1億6千500万円となった。

## 津野町総合防災訓練について

9月2日船戸体育館、新

土居健康管理センターの二か所同時進行で総合防災訓練を実施した。今回の訓練には住民128名、役場職員33名、常備消防8名、消防団員57名の総勢226名が参加した。

また災害時の情報収集に関する協定を結んでいる(有)葉山土木コンサルによるローンの実演も行った。

## 平成29年度財政健全化の状況について

8月2日監査委員の審査を受けた。判断指数となる実質公債費比率は△6.1%と昨年に引き続き健全な数値となっている。

## ブラジル交流訪問について

7月18日から9日間の日程でブラジル日本移民110周年、ブラジル高知県人会創立65周年記念に出席し、三世の若い世代との交流や意見交換会等に出席した。

## 座談会について

これまで地区座談会は町内10区において開催してきたが、本年度は希望する

地区会や各団体等に出向き開催した。現在、5地区3団体から希望があり開催を予定している。

## 通学支援について

高陵交通バス利用者には定期券購入費の2/3以内、JRについては1/2以内、寮・下宿費用に要した額は上限1カ月1万5千円、バイクは購入費用の1/2以内、限度額10万円の1回限りを助成する。

4月にさかのぼって実施。

## 防災拠点施設整備について

8月4日から敷地造成工事に入っており、本年度中に舗装工事完了の予定。高幡消防組合津野山分署葉山出張所、津野消防団本部の施設の建築は、木造二階建約741㎡の規模で内外装とも出来る限り木材利用を考えている。現在までに基本設計を完了している。

## 日本生命との協定締結について

8月6日に日本生命保険高知支社と「津野町の地方

創生の推進に向けた連携と協力に関する協定」を締結した。

## 観光振興計画について

四国カルスト天狗高原、四万十川源流点活性化プロジェクトにより観光振興計画を策定した。

## 天狗荘のリニューアル構想について

天狗荘は、昭和44年に営業を開始したが老朽化が進んでおり、施設整備を図るため基本設計に着手したいと考えている。

## 牧野植物園との連携協定について

7月30日、津野町全域で行う植物調査・研究等について協定を締結した。

## 「志国高知 幕末維新博第二幕」について

地域会場の吉村虎太郎邸、サブ会場の郷土資料館と片岡直輝・直温生家を核にスタンプラリーやトウクトウクレンタカー、虎太郎邸のレンタル衣装体験プログラム

ムなどと連携させながら周遊観光の推進を図っていく。

## 「津野山大学校」について

平成28年度から進めている「津野山学」の推進に力点を置いた取り組みとして「津野山大学校」を10月に開校する。

## 学校教育について

学力向上対策は6年目となり、子供が主体的・対話的に深い学びが出来る問題解決型の学習が定着してきた。学力テストでも全国平均を上まわり、着実に学力向上が見られる。

精華小学校の今後の在り方についてのアンケート調査では、42・5%の保護者が現行のままの学校配置で良い、33・3%の方が当面は現行のままが良いが将来に向けて統合を検討すべきであるとの回答であった。



# このままじゃいかんぜよ

## 産業建設常任委員会報告

産業建設常任委員会は、8月17日、林業振興、茶業振興の現状と課題・今後の取り組みについて森林組合、JA津野山、茶業組合と意見交換を行った。

### ○林業振興について

朝見谷ストックヤードの現在の状況や山の現状について聞き取りを実施する中で森林整備の必要性や林家の所得向上、自伐林家の育成の重要性について確認できた。

更には子どもたちの森林・林業学習への取り組み等、新たな視点から山を活かし、山間地域の発展につなげていかなければならないと痛感した。

### ○茶業振興について

茶は古くから特産品として栽培されている基幹産業である。JAからの聞き取りによると、平成29年度は茶製品販売の目標売上金額の達成や、平成27年度加工施設の統合以降、品質向上効果により平成29年高知県

茶品評会において最優秀賞を含む上位5位を独占したとの嬉しい報告を受けた。しかしその一方で、就労者の高齢化と後継者不足、茶販売価格低迷による経営難から、茶業からの撤退が進み産地規模が年々減少している。現在の生産規模を維持していくためには早急な手立てが必要であると認識した。



## 議会のらびき

### 8月

- 5 津野消防団連合演習  
(西運動公園他・議員)
- 13 高幡東部清掃組合議会  
監査  
(中土佐町・組合議員)
- 15 第14回津野町夏祭り  
(西運動公園・議員)
- 17 産業建設常任委員会  
(西庁・委員)
- 20 町村議会議長研修会及び  
県政に対する意見交換会  
(高知市・議長)
- 21 全員協議会  
(西庁・議員)
- 22 津野山広域事務組合監査  
(梶原町・組合議員)
- 26 平成30年度警察官友の  
会須崎署員との交流会  
(須崎市・議長)
- 2 第32回土佐牛まるかじり大会  
(梶原町・議長)

### 9月

- 3 議会運営委員会  
(本庁・委員)
- 6 第4回津野町議会定例会開会  
全員協議会  
総務常任委員会  
(西庁・議員)
- 7 休会(～11日)  
平成29年度決算連合審査会  
総務常任委員会  
(西庁・議員)
- 11 東津野中学校体育祭  
一般質問  
(西庁・委員)
- 12 一般質問  
(西庁・議員)
- 13 一般質問・議案審議、閉会  
(西庁・議員)
- 16 葉山中学校体育祭  
津賀ダム水利権更新にかかる打ち合わせ  
(西庁・議長)
- 19 津野町森林組合事務所  
新築起工式典  
(高知市・正副議長)
- 20 高原荘敬老の日祝賀会  
(西庁・議長)
- 22 精華小学校・葉山小学校運動会  
四国四県町村長・議長大会  
(徳島県・議長)
- 23 精進小学校・葉山小学校運動会  
(須崎市・議長)
- 26 四国四県町村長・議長大会  
(徳島県・議長)

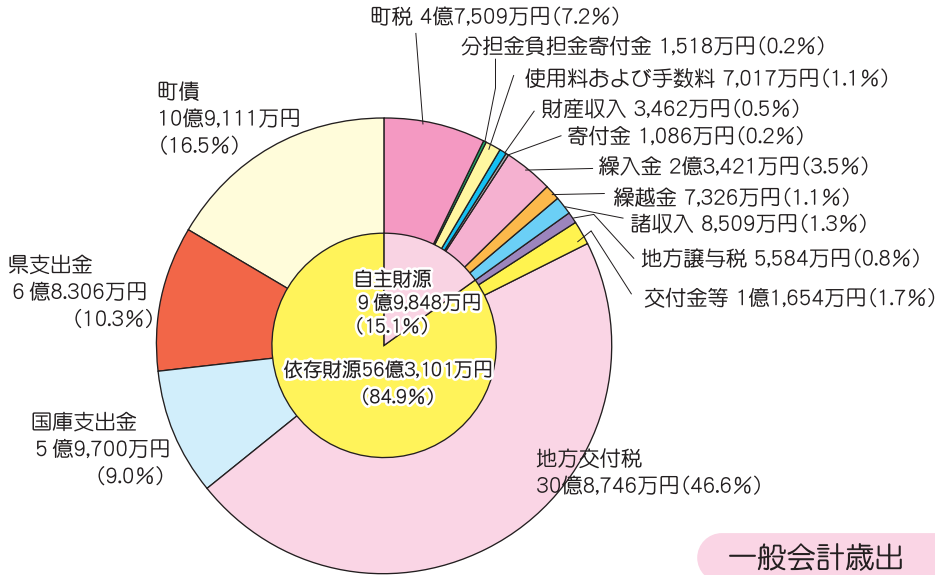
### 10月

- 3 高幡東部清掃組合議会定例会  
(中土佐町・組合議員)
- 6 にじいろ園運動会  
第14回産業祭実行委員会  
(商工会本所・委員)
- 9 第14回産業祭実行委員会  
(高知市・議長)
- 12 第37回高幡町村議会議長会臨時総会  
(梶原町・議長)
- 15 議員行政実務研修  
(高知市・議員)
- 16 議会だより発行調査特別委員会  
(本庁・委員)
- 18 四国地区町村議会議長会研修会  
(高知市・正副議長)
- 19 津野町森林組合事務所  
新築起工式典  
(町内・正副議長)
- 20 棚田キャンドルまつり  
議会だより発行調査特別委員会  
(本庁・委員)
- 25 トップセミナー  
新越知町制60周年記念式典  
(越知町・議長)

# 平成29年度一般会計・各特別会計決算を認定

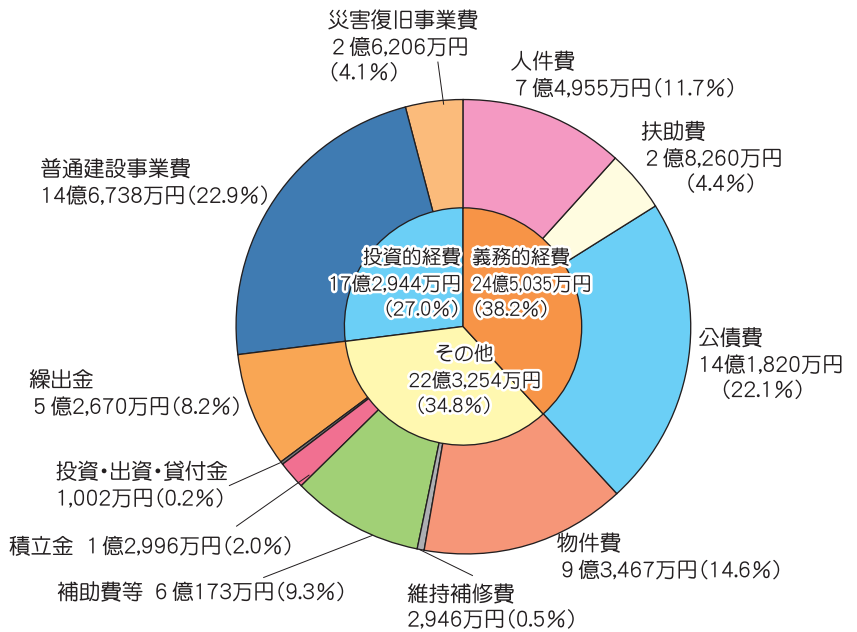
**一般会計** 町債（借金）現在高72億8,377万円（対前年2億9,311万円減）  
 基金（貯金）現在高90億1,452万円（対前年5億4,342万円増）

一般会計歳入 66億2,949万円



平成30年9月定例会で、総務常任委員会に付託された平成29年度一般会計・各特別会計の歳入歳出決算は全会一致で認定された。

一般会計歳出 64億1,233万円



## 一般会計

### ①歳入歳出の状況

平成29年度一般会計歳入決算額は、前年比4.3%減の66億2,949万9千円、歳出決算額は、前年比3.5%減の64億1,233万1千円で歳入歳出差引額は2億

1千716万8千円となっている。実質収支額は、1億9千222万4千円であり、この内1億円を基金積立している。歳入歳出とも前年度より減少している。

## 会計別の決算額 単位：万円（端数切捨て）

合計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	66億2,949	64億1,233	2億1,716	
特別会計	国民健康保険事業勘定	9億4,180	9億2,590	1,590
	直営診療施設勘定	1億4,355	1億4,355	0
	介護保険事業	7億5,429	7億4,306	1,123
	簡易水道事業	5億657	5億657	0
	生活環境施設整備	6,720	6,640	80
	後期高齢者医療	9,590	9,521	69
	合計	91億3,883	88億9,304	2億4,579



②財産の管理について

町有財産の管理については、適切に処理されている。

森林財産の有効利活用を図りたい旨、監査委員から意見があつている。

③債権の状況

学資貸付金は平成29年度貸付金852万円、返済額は930万円で決算年度末現在額は5千24万5千円である。貸付金は、100%徴収されている。

④基金の状況

基金（基準日平成30年3月31日）は、7億2千138万4千円積立し、1億7千796万5千円取崩し、決算年度末の残高は、90億1千452万3千円で平成28年度末に比べ5億4千341万9千円増加している。

⑤地方債の状況

平成29年度発行額は、10億9千110万6千円で償還金は13億8千422万3千円（繰上償還含む）である。決算年度末残高は、72億8千377万7千円で平成28年度末に比べ2億9千311万7千円減少している。

⑥収入未済額の状況

収入未済額は、町税827万6千174円、養護老人ホーム入所負担金69万8千100円、保育料・幼稚園授業料等5万5千110円、教員住宅使用料10万2千円、学校給食費47万5千660円の合計960万7千44円で平成28年度末より416万9千120円減少している。

特別会計

国民健康保険事業特別会計

平成29年度末加入世帯数は946世帯で総世帯数に占める割合は35.8%となっている。被保険者数は1千468人で総人口に占める割合は25.1%である。医療費一人当たりの平均額は38万1千634円で増加傾向にある。

国保税に対する徴収率は96.07%でその内訳は現年課税分98.15%、滞納繰越分56.87%となっている。

直営診療施設勘定特別会計

受診者数は、姫野々診療所で延べ1万1千220人、杉ノ川診療所で延べ7千347人

合計で延べ1万8千567人と昨年度より減少している。

簡易水道事業特別会計

使用料について21万7千880円の未収金がある。

生活環境施設整備特別会計

本年度の浄化槽設置基数は19基である。使用料で28万3千840円の未収金がある。

介護保険事業特別会計

保険料について405万8千560円の未収金がある。

後期高齢者医療特別会計

保険料について23万6千438円の未収金がある。

財政健全化判断比率  
基準値を下回り「健全」

平成29年度決算における財政健全化判断及び公営企業の経営健全化判断は、いずれも国の定めた健全化基準を大きく下回っており、赤字や資金不足は生じていない。

財政健全化判断

指標	健全化判断率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	△6.1%	25.0%
将来負担比率	負担なし	350.0%

経営健全化判断

会計名	資金不足率	健全化基準
簡易水道事業	不足なし	20.0%
生活環境施設整備	不足なし	20.0%

●標準財政規模

補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。29年度は35億6千691万4千円

●実質赤字比率

普通会計の標準財政規模に対する赤字の割合

●連結実質赤字比率

町の全ての会計の標準財政規模に対する赤字の割合

●実質公債比率

町の標準財政規模に占める借金返済額の割合

●将来負担比率

町の標準財政規模に対する将来支払う負債の比率

問 林業振興の取り組みは

答 山が動き始めた



西森盛幸

一般質問

西森

林業振興を推進している施策は着実に成果が上っていると言っているが、雇用や後継者育成のどの部分で成果があるか。

池田町長

朝見谷山元貯木場の整備を行い原木を安定的に供給する体制ができた。経営基盤の強化と雇用の拡大、林家の所得向上に取り組んでおり、木材の取扱量は毎年増加をし、山が動き始めたと思っている。

地域おこし協力隊の場合、3年で林業技術を習得するのは難しいが、林業での定住が出来る仕組みをどう作っていくのか関係機関とも議論をしながら体制を整えていきたい。

西森

ふるさとセンターへの出荷者も毎年少なくなり、農業後継者問題は緊急課題である。特に茶農家は栽培管理に大変な苦勞をしている。後継者の育成・茶農家への支援等、どう取り組むか。

池田町長

農業に関心のあるUターン、定住者等には津野町産地提案書や移住促進会を活用し、様々な支援の情報提供をしている。生産者研修、品質向上の研究で意欲を持たせ、今後は農家の定期巡回もする。

茶業については、津野山茶ブランド化で評価を上げ、6次産業化で農家の収入が維持されているので特別支援は慎重に考えたい。

問 農業振興と後継者育成は  
答 様々な支援を





問 保育料無償化後の取り組みは

答 新たな施策に活かす  
財源としたい



高橋 眞一郎



## 一般質問

高橋  
保育料無償化を来年10月、消費増税と共に行うという事であるが町長の行政姿勢は。

池田町長  
本町は既に、保育料を国の基準額の2分の1に軽減し、世帯年収を問わずに第2子は保育料の半額にしている。10月からの国の無償化は新たな財源の可能性がある。状況を見極め新たな施策に活かす財源としたい。

議会を傍聴してみませんか。

定例会は年4回です。 3月・12月（本庁舎議場）  
6月・9月（西庁舎議場）

たくさんの傍聴をお待ちしています。



西元和代

# 一般質問

**問** 就労継続支援事業所に  
正規職員増を  
改善計画の中で検討

西元

就労継続支援事業所の運営は厳しいようだが今後の町の関わりは？  
工賃の安定的な確保や利用者の生活の質の向上のために、継続した個別支援と事業所のあり方を共に、密に考えてもらえるよう、正規職員を増やしてはどうか。

池田町長

どんぐり農園と里楽の2カ所があり、大変厳しい経営状況であり支援は不可欠と考えている。  
管理者1名以外は非正規職員だが非常に大変な業務を担っており、非正規職員としては責任が大きいと感じている。適正な事業所のあり方を含め、財政だけでなく運営についてもしっかりと見直し、どう支援していくべきか分析し改善計画の中で検討していく。



就労継続支援事業所の風景

**問** 障がい福祉のショートステイを町内に意向・ニーズ確認のうえで協議を

西元

障がい福祉のショートステイは町内になく、高幡圏域内も極少ない定員で常時満床であり、非常時を思うと家族の不安が募る。既存の施設を活用し共生型の設置に向けて協議・研究を進めるべきでは。

池田町長

町内にショートステイがあるのは理想であり、その可能性があるのは葉山荘・高原荘だが運営主体は広域一部事務組合である。これらの施設を活用した共生型のサービスは考えていかなければならない。まずは現在、町内のショートステイを利用していらっしゃる方を含めた障がい者やその家族の意向・ニーズを聴き、確認したうえで将来性について構成自治体との協議をしていかなければと考える。

障がい福祉ショートステイがある  
みどりの家(梶原町)      オイコニア(四万十町)





問 稼ぐ仕組みと自販機設置を

答 いずれも稼げるスポーツに



西元

総合センター体育館の改修に伴い交流人口が増えた。維持管理を長い目で見ると、もう少し稼ぐ仕組みを取り込んでいってもいいのでは。また、館内に町管理の自動販売機も設置し、セミオペレーションタイプを取り組みで津野町のお茶を主に販売してはどうか。

池田町長

葉山運動公園改修以降、賑わいが高くなり本町の施設の充実が高く評価されているが地域経済の潤いには繋がっていない。体育協会加盟団体主催の大会では参加者への情報提供の協力要請をしているが、今後は更に商工会・各種団体・企業の皆さんの協力を得た取り組みをすることで稼げるスポーツにしていきたい。自動販売機については、現在ある1台では売り切れが多く、確かに稼げる可能性はある。設置スペースは慎重に考えながら、セミオペレーションタイプについて学びたい。

問

答

介護職員初任者研修 受講料に助成を 早期の制度化で人材確保を 目指す

西元

介護職の人材不足が課題であり、介護職員初任者研修を実施することも費用対効果から厳しくなっている。例えば、民間企業で受講しても津野町の介護に関する仕事をすれば町がその受講料を助成してはどうか。

池田町長

津野町での仕事をしていただく義務減免を付けた支援制度は当然考えられるべきである。担当部署で新たな制度として研究し、できるだけ早い時期に独自の制度化をしながら人材確保に繋がってきたい。

※セミオペレーションとは

自動販売機を設置する際に運用の全てを専用の会社にお願ひすることをフルオペレーションと言うのに対し、設置場所の提供者が運用を行う管理方法。責任はかかるが、フルオペレーションより収益は高くなる。

問 その他の質問 富山型デイについて

答 富山型デイを理想として集落活動センターを増やしたい。

ちよこちゃん

去る9月8日第34回高幡地区障害者運動会が十和体育館(四万十町)で開催されました。

当日は、バスを待つ間にずぶぬれになるほどの大雨。その為乗り降りやトイレ休憩に思わぬ時間を要したり、会場を間違えたチームもあり大幅に遅れてのスタートとなった。

昨年は合併後初!?の優勝に、今年は「優勝祝賀会で一杯やらないかんね」と言いつつ臨んだ結果は、惜しくも準優勝だった津野町。近隣の参加者やボランティアの方々とも顔見知りになり、来年の再会を約束した。何より参加者の皆さんが楽しそうな笑顔で競技に参加されるのを見て元気になつてくる。

来年の開催地は須崎市。近年は参加者が少なくなつたと残念な声も聞かれた。会員の皆さん、是非参加し他の市町村の仲間と交流しませんか。

問 外部指導者について

答 人材を掘り起こして



川上 智子

一般質問

川上

中学校の部活動については、練習時間の設定や休養日を設けるよう県教委から指導されている。

また教員の働き方改革や負担を軽減する目的で部活動指導員（外部指導員）を積極的に活用するようとの事であるが本町における考えは。

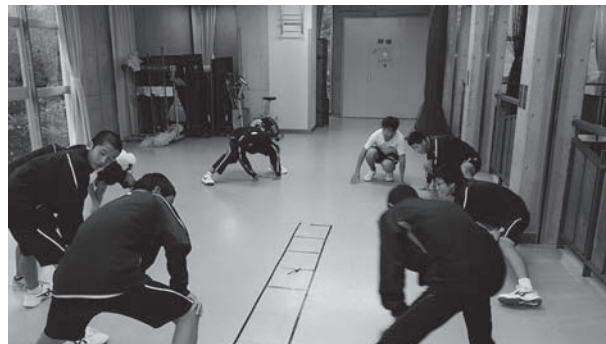
久寿教育長

学校教育方針に理解があり、かつ顧問の教職員と強調できる人材が必要。

来年度から学校支援地域本部事業を活用しながら人材を掘り起こし、指導員の育成をしていきたい。

池田町長

早急に考えていきたい。



部活動に励む子ども達

川上

市町村主体の森林整備や木材利用、普及啓発を進めるための森林環境譲与税、この税の財源を活用しつつ、どのように森林・林業改革を進めていくのか、町長に考えと決意を伺う。

池田町長

平成31年度から33年度までに1千700万円町に分配される見込み。森林管理シstemや現在実施している木の家普及促進事業の拡充の他、子ども達の森林学習も推進していかねければならない。必要な業務について検討、新たな施策に譲与税を充当し林業振興に取り組む。

問 どのように活用する？譲与税

答 新たな施策に充当

**問** L G B T 教育への  
取り組みは

**答** 道徳授業において

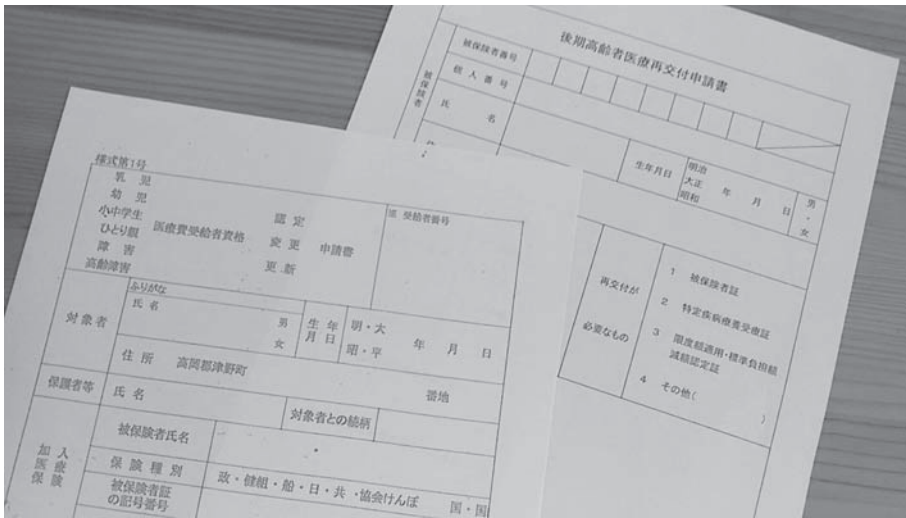
川上

中学校で性的少数者L G B Tなどについての授業や課外活動で学ぶ取り組みが広がっている。その背景には社会的な高まりに加え周囲の理解不足からいじめや不登校への対応が求められているからである。本町の取り組みを聞く。

久寿教育長

来年4月から使用する教科書において、中学2年生で人権課題への取り組み、3年生までは「様々な性」という項目で学習する事となっている。

学校全体で責任を持って子ども達に違和感のない学習ができるよう委員会としても指導していききたいと考えている。



■平成30年3月にスポーツ省の部活動の在り方に関する総合的なガイドラインが出された。それを受け県教育委員会では、県内の部活動改善改革の第一歩とし「県部活動ガイドライン」を作成。その中で週あたり2日以上休養日の設定や1日の部活動時間を平日で2時間程度、休日は3時間程度にするよう指導している。また、望ましい運動部活動の在り方では外部指導者を積極的に活用するよううたわれている。

■性的マイノリティー

[L(エル)G(ジー)B(ビー)T(ティー)]

L：レズビアン〈女性の同性愛者〉

G：ゲイ〈男性の同性愛者〉

B：バイセクシャル〈両性愛者〉

T：トランスジェンダー  
〈心と体の性との不一致〉

昨今、テレビや新聞などでL G B Tという言葉を目にする機会が多くなりました。しかし、現状ではまだまだ偏見や差別に苦しむ人が多く存在しています。

**問** 性別欄削除の考えは

**答** 順次進めていく

川上

自治体においても、心と体の性が一致しないL G B T（性的少数者）に配慮した対応が広がっている。本町ではどのように考えるか。

池田町長

法的に定められているもの以外については、必要性を十分調査し必要のないものについては削除の手続きを進めていきたい。



問 「酒蔵ホール」の改修を

答 音響機器の適正管理を



石川 寿郎



「大目真壺とロス・トマテス」のコンサート(6月・酒蔵ホール)

一般質問

石川

6月の大阪府北部の地震でブロック塀倒壊の事故があった。「酒蔵ホール」の壁面も主にブロック仕様だが、耐震はクリアしているのか。また、雨漏りや使用頻度の少ない部屋についても、この際、ステージを広げ、観客席(傾斜型)確保と音響効果改善も含め、酒蔵のイメージを損なわない程度に早期改修をしては。

池田町長

酒蔵ホールは、昭和56年の建築基準法に基づく耐震基準はクリアしている。利用の少ない部屋を改修しての観客席確保は難しいが、音響機器はベストな状態にしたい。また、雨漏りの修繕やトイレの改修は具体化を考えている。

今後は、酒蔵のイメージを壊さないような改修の在り方について検討していく。

石川

「東京2020オリンピック・パラリンピック」に参加する海外チームの事前合宿誘致や、スポーツ、文化などの友好的交流を推進するホストタウンの取り組みを高知県内でも既に行っている自治体がある。津野町も取り組みをしては。

池田町長

本町は、事前合宿に可能なほどのフィールド、施設、宿泊所等の環境が不十分であり、単独でのホストタウンはハードルが高すぎる。国際的な一大イベントが日本で開催され、多くの外国人が日本に來られ津野町にも訪れることを想定し「おもてなし」を心がけたい。

問

「東京五輪」選手団の招致を

答

「おもてなし」をする



東京オリンピック招致用ポスター

高知みらい科学館の  
デジタルプラネタリウム



**問** 「観光振興」強化を

**答** プロジェクトチームで議論を

石川

「天狗高原の星空が美しい」とSNS等による外国人観光客増加に伴い、天候情報のネット配信や外国語版のガイドブック、ポスター等でPR強化を。また、悪天候対策や西区の活性化を目的に、四国カルスト学習館の展示物の移設と映画の上映やスポーツ等のライブ投影が可能なオーテピアと違うタイプの「プラネタリウム館」を併設した「カルスト自然科学館（仮称）」を麓に新設しては。



池田町長

現在、英語版のパンフレットを作製中である。また、ポスターや看板は誘客にとって重要であり、空港・駅・道の駅・レンタカー会社等に掲示をお願いしたい。今年4月に光回線が入りネット環境は整った。高原の星空は、気象状況の関係で全く見えない時と雲間から一時的に見える時がある。それが魅力だと思う。絶景地への次の誘客に繋げたい。カルスト自然科学館については基本構想の中で県と議論していく。

(用語説明)

※「SNS」(ソーシャル ネットワーキング サービス)とは

友人・知人間のコミュニケーションをはかる手段や、新たな人間関係を築く場を提供するインターネット上会員制サービス

石川

町内のコンビニエンス・ストアには、既に住民票、戸籍謄・抄本、印鑑証明等が交付できるマルチ端末機を設置されている店舗がある。土日祝日問わず、早朝から深夜まで営業されており、町民の利便性が図られ津野町の魅力の一つにもなる。町も早急にシステムを導入し、コンビニでの「行政サービス」を稼働させては。

**問** 「コンビニ」で行政サービスを  
**答** 費用対効果を考える

池田町長

コンビニの少ない本町での利用者は最大10%位だと思ふ。またシステムの導入経費、運用経費、約5年周期の交換費用、事業者への手数料が必要で費用対効果を考えると、現在のところ考えられない。将来的には、事情の変化に対応したい。

問 その他の質問  
答 ペットボトルの「収集かご」の軽量化を  
ゴミ減量化検討会で十分議論する。



東区のペットボトルの  
「分別収集かご」

問 人口増の取り組みは

答 関係人口の活用で



中山昭英



中山

津野町にとって人口増は緊急課題であり、町外で暮らす方のUターン等を促進する新たな取り組みが期待される。

須崎市や高知市に在住する方の帰町などが考えられるが、関係人口の構築など今後の取り組みは。



(ジジ〜 バアバ〜)

池田町長

人口減少対策として色々な施策を講じているが、歯止めをかけることが出来ない非常に難しい問題である。今までの移住人口や交流人口ではなく、地域や地域の人と多様な事で関わりを持つ方に津野町に関心や関わりを持ってもらって、結果的に移住してもらおうという関係人口が注目されている。

受け入れ側の津野町の人材育成を行い、その後に先進事例を含めた研究をしながら津野町にあった施策を実施して人口減少にブレーキをかけていく。

中山

今年は、郷地区の「津野山ハイカラうどん」の外商店戸地区の「田舎豆腐」、東京農大との連携事業による「津野山オリジナルスープ」の開発と楽しみな一年である。

津野町のリピーター増とふるさと納税の返礼品増からも、早期の事業化が待たれる。取り組み状況を聞く。

池田町長

「津野山ハイカラうどん」は農家食堂でメニュー化している。「田舎豆腐」は老舗の岩本豆腐から作り方を引き継いで来年度から販売する。「津野山オリジナルスープ」は、協議会が商品開発に東京農大の全面的な支援を受けて5つの商品を開発し32年度までに開発しようという計画を進めている。町民の方に知ってもらうために機会あるごとに食してもらって、町内すべての皆さんに外に向けて発信してもらいたい。

問 食の開発は  
答 うどん、豆腐、スープを



©池田町





**問** 国道の安全対策を  
**答** 継続的に見守っていく

中山

国道と新莊川が並行する姫野々山崎地区付近では、国道の道路擁壁の倒壊が危険視されている。迂回路もないことから通行止め、工事の提案をすればならない。

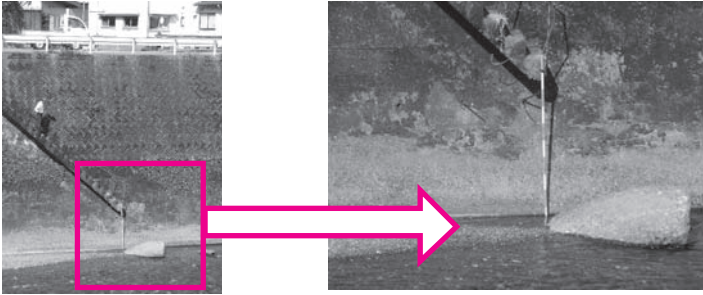
著しい浸食による河床低下が原因であるので、再検証して実態にあった対策を講じるよう管理者の県に働きかけるべきではないか。

池田町長

須崎土木事務所も現状を把握して技術的な視点から調査している。すぐには倒壊の恐れがないので、今後も継続的に見守っていくとの連絡を受けている。  
高橋建設課長

道路構造物としては健全な状況で現段階では災害復旧事業の対象にはな

らないと聞いているが、侵食による河床低下は進んでいる。  
今以上に洗掘が大きくなったら根継工法での災害復旧工事の提案をしようと思う。



(1.7mの河底低下の状況)



**問** 歩行者の安全対策を  
**答** 身守っていく

中山

国道197号線、西谷地区下側の斜面が急峻であり、設置されている山留壁や落石防止柵等が低いことから歩行者の安全確保がなされていないと危険視する声を聞く。

近年の異常気象で想定を超える100mm超の大雨が多発する現状からも、県に早急な安全対策を要望すべきではないか。

池田町長

この場所は従来から心配されている箇所であり町としても須崎土木事務所に安全対策を要望しており、施工もしてもらっている。

高橋建設課長

西谷口から永林までの区間は前から危険ということ、安全対策には完璧は無いので町の見守りと、県の継続的な点検、見回りを要望していく。



直角に切り立った危険な崖

問 地方議員のなり手不足

答 もっと町政に関心を



大崎 芳章

一般  
質問

大崎

今年、県内で行われた選挙は13市町村で、6市は91名の定数に14名が立候補した。7町村は71名の定数に76名が立候補し、4町村が無投票であった。

津野町は合併時には2区で14名に対し22名が立候補したが、近年は連続して一人落ちが続いている。地方議員のなり手不足について町長の考えは。

池田町長

総務省の有識者検討委員会により、議員数を減らし、専門で生活できる報酬を支給する集中専門型と、議員数を増やす多数参画型が創設案として出され、現行制度に加えてそれぞれの自治体が選択できるとして議論が活発化されている。

定数・報酬等もあると思うが、町政への関心を喚起することが重要である。町がどのような考え方で、どのような形で町づくりを進めているのかを町民の皆さんにしっかりと伝え、政策に参加できる行政を推進していく。そのことで町政に関心を持ってもらうことに繋がっていくと思う。



本庁舎議場

西庁舎議場



**問** 新婚者の  
町営住宅入居に配慮を  
**答** 特例は認められない

池田町長

仕事を辞めて津野町に  
来られ、所得のない中で公  
営住宅に入れないのは、受  
入れ側として非常にもった  
いない感じはする。ただ、  
入居時の所得基準は公営住  
宅法に基づいて条例で定め  
られており、住宅に困窮す  
る低所得者に安い家賃で貸  
すことが法の主旨であり、  
独自の改正や特例が認めら  
れない。家賃の算定は毎年  
見直しがあり、当年度に収  
入が多くても前年度に収入  
が低ければ家賃は安くなる。

大崎  
公営住宅に入居する場合  
入居者の前年度の所得に  
よる制限がある。それま  
でお互いが働いていた新  
婚は、所得制限により希  
望する住宅に入居できない。  
出産等で直ぐには共働き  
ができない家庭もある。  
結婚後の入居者に配慮が  
できないか。



町営住宅船戸団地ニューホープ四万十

大崎

県内でも役場や消防署が  
ドローンの購入や、オペレ  
ーターの育成に取り組んで  
いる。特に消防署では行方不  
明者の捜索・転落事故等の  
救助・山火事・自然災害の  
状況調査や二次災害防止等  
に向けての購入が拡大して  
いる。

近隣でも、四万十町と中  
土佐町では昨年度に1機購  
入して既に消防職員でオペ  
レーター4名を育成。中土  
佐町は今年度、防水型を購  
入予定。梶原町は役場が2  
機を購入済みである。消防  
署に購入とオペレーターの  
育成をしてはどうか。

池田町長

様々な機関が活用につ  
いて関心を持っていて、購  
入をしている企業も多く見  
受

**問** ドローンの有効活用は  
**答** 今後の課題とする

ける。

ドローンの活用は非常に  
重要で、消防庁でも手引書  
を作成して有効な手段とし  
て位置付けている。

本町では葉山土木コンサ  
ルと災害協定を結んでおり  
災害時にはドローンの利用  
活用をしていただく。

購入となると、オペレ  
ーターが固定化されるので消  
防職員が有用と思われるが、  
消防対応の場合は常備消防  
であるので、梶原町としつ  
かり協議をした上で高幡消  
防組合での導入になる。

今後、ドローンの必要性  
はあるので、消防以外の活  
用についても考えていく。  
まずはオペレーターの養成  
が重要であるので、今後の  
課題としたい。



問 基本政策を聞く

答 発展的に取り組む



大崎 健夫

一般  
質問

大崎

津野町の二代目町長として一期、二期、三期と町政を担当している。しかし、3回とも無投票で対立候補者はおらず、町民は公約や政策論争を聞くことはなかった。各3回に掲げた基本政策は何であったかを問う。

池田町長

一期目は対話と参加・町民に見える町政・教育環境の整備・健全な財政運営。二期目は、元気な集落づくり・健康で安心の福祉の町・活力ある産業づくり。三期目は、二期目を基本に新たに振興計画に取り組んでいる。

大崎

今年も数回の避難勧告が発令されたが、一次避難所は2カ所で谷入りの集落からは遠すぎる。現在、地区全体の7割程度に自主防災組織が出来ている。対策本部と地区組織との連絡を密にした避難場所づくりをすべきである。

池田町長

地区組織との連携を強化していく事が大事であり、取り組みを強めていく。

問 自主防災組織との連携を  
答 体制を強化していく



防災訓練

問 棚田サミットについて

答 現状では不安要素がある

大崎

今までの農業政策は、集約的農業、規模の拡大が主流であったが、近年それが見直され棚田を中心としたふるさと農業を維持していく傾向が見られる。棚田の景観を後世に残すために財政的支援を行うという「棚田法案」もその一つだ。

20年程前から全国の「棚田百選」を主体とした棚田サミットが開催されている。貝ノ川の棚田も棚田学会から開催要請が来ている。立候補する意向はないか。

池田町長

津野町からも2カ所のサミットに出席して来たが、規模の大きさから見て津野町での受け入れ体制には不安要素がある。



貝の川 棚田

問 正規と非正規の格差是正を  
答 国の動きを見て見直す

大崎

同一労働、同一賃金の原則に立って正職員と臨時職員との待遇改善をすべきではないか。

池田町長

国の動きを見ながら改善すべき方向で検討する

その他の質問

問 選挙用掲示板の設置場所を見直せ

答 来年の県議選までに検討する

問 小中学生を対象に模擬議会を開催しては

答 教育の一環として議会の傍聴を計画している

## 読者クイズ

下記の問題の○に入る言葉のうち①～⑤を繋いで言葉を完成させてね。

答えは今月号の議会だよりの中にあるよ!!



1. 茶業で津野山茶①○○○化を目指す
2. L G B TのLは○○○○②
3. 郷地区の農家食堂のメニュー、津野山○○③○○うどん
4. ドローンの活用で津野町と災害協定を結んでいる葉山土木○○④○
5. 現在、津野町での自主○○○⑤組織は地区全体の約7割

前回の答えは「スイカワリ」でした。厳正な抽選の結果、下記の5名が当選されました。おめでとうございます。

お寄せいただいた感想  
ご意見の一部紹介

★かぞくみんなで楽しく読んで調べました。

★ふるさとセンター直販物の売り上げ減収とのこと。何か手当てをしなくては。野菜づくりはまず土づくり。生産者への牛糞堆肥格安販売を行います。

官製はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え、感想など一言をご記入の上、11月末日までに下記の議会事務局までご応募下さい。正解者の中から抽選で5名の方に、プレゼントをお送りいたします。なお、当選者は次号にて発表いたします。どしどし、ご応募下さい!!

### 当選者

北川 姫野	楠目 明神	教英 桃香	様 様 様 様 様
新土居 新土居	福井 山崎	花音 洋子	
姫野 々々	高橋 高橋	益 惠	



前回の当選者に贈られたプレゼント

### 津野町議会だより 発行調査特別委員会

委員長	西元和代
副委員長	石川寿朗
委員	中山昭英
委員	川上智子
委員	大崎健夫
委員	大崎芳章

## 編集後記

9月議会定例会は、8人の議員が一般質問を行いました。意外にも、平成21年7月に議員定数が10人となって以来、最高の質問者数とのことでした。議員全員が一般質問する定例会も、そう遠くないように思います。議会が、活発になることは大変良い傾向です。また、町の行政課題が山積してきている今、質問者が多いのは当然の事だと思えます。町長の答弁を聞いていますと、息子のバスケットボールの監督がよく言っていた言葉が浮かんできます。「ハードルは高いほどくぐりやすい」

(文責・石川寿朗)

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

〒785-10201

津野町永野四七ー一

津野町役場議会事務局

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。